

年頭のごあいさつ



八雲町長

いわむらかつのり
岩村克詔

新年あけましておめでとう
ございます。

町民の皆さまにおかれましては、令和2年の希望に満ちた新春を、清々しく迎えられましたことに心からお慶びを申し上げます。

また、日頃から町政の推進にあたり、格別なるご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年5月に元号が平成から令和となりましたが、新しい時代である令和にふさわしい、未来のある八雲町の実現のため、本年もチャレンジ精神を持って町政執行に努めます。

さて、私は、町長に就任してから町のトップセールスマンとして、各省庁や八雲町に関わりのある企業・大学を訪問し、八雲町という種を蒔いてまいりました。「将来にわたって地域住民が夢と希望を持って、安心して暮らせる八雲町」実現のため、この種が

つばみとなり、大きな花となるような成果に向け、より一層の努力をしてまいります。

基幹産業である農業、漁業の活性化は、町にとって特に重要でございます。農業では、道南初の研修牧場の整備を進め、次世代の担い手をしっかりと育成し、八雲町の農業を守る取り組みを推進してまいりたいと考えております。

漁業のトラウトサーモン（ニジマス）の海面養殖につきましては、八雲町の特性であります日本海と太平洋の2つの海に面する環境を生かし、実施主体である漁業協同組合と連携し、昨年12月より養殖試験を開始したところであり、新たな漁業の創出に向けた取り組みを推進してまいりたいと考えております。

国は、昨年10月に年金、医療および社会保障給付並びに少子化に対処する施策に充てるため、消費税率を8%から

10%に引き上げております。町といたしましても、家計の購買力低下により、町内経済に影響することが懸念されることから、経済に与える影響を緩和するため、昨年7月に町独自のプレミアム商品券を発行いたしました。

ふるさと応援寄附金は、好調に推移しており、平成30年度は、36億円を超える寄附金を道内外からいただいたおり、町の財政安定化に寄与している状況でございます。これからは、地域活性化に繋がる仕組みを構築すると同時に、全国へ情報発信することにより魅力ある八雲町をPRしてまいりたいと考えております。

町民が安心して生活していくためには、地域医療の充実が重要であり、それを担うのは八雲総合病院、熊石国民健康保険病院でございます。

北渡島檜山地域センター病院としての八雲総合病院は、特に内科医師の確保に苦慮しておりますが、引き続き、北大病院をはじめとする道内医療大学、八雲町とゆかりの深い病院と連携を図りながら、常勤医師の確保に努めてまいります。

また、経営改善のため、コ

ンサルティングを導入し、診療体制、看護体制、経営管理体制など抜本的な改革に取り組み、経営健全化に努めてまいります。

熊石国保病院は、高齢化が進む熊石地域にとって大切な存在であり、引き続き、近隣地域からも信頼される医療機関として、その役割を果たしていけるよう努力してまいります。

役場本庁舎は、築58年が経過しております。また、公民館も築53年が経過しており、老朽化が進んでいると同時に、両施設は耐震基準を満たしていないため、耐震改修または改築を検討してきたところでございます。

教育委員会・保健福祉課の窓口が庁舎から離れていることでご不便をおかけしていることもございますので、施設の集約化を行うことにより建設費や維持管理費の削減が可能となるとともに、町民皆さまの利便性向上が図られると考えているところでございます。

昨年4月～10月にかけて町内各地域において、延べ20回の町民懇談会を実施したほか、町民3,000名を対象に庁舎建設に関するアンケート調

査を実施しております。町民皆さまからお寄せいただいたご意見を基に、基本計画の策定に向け進めてまいります。

今後とも、町民皆さまが夢と希望を持って暮らしていくるまちづくりを推進していくため、私をはじめ全職員一体となって一層の努力を傾注し、町民皆さまとの深い連携と信頼によって、諸課題に的確に対応していく所存でございますので、本年も特段のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまのご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

